

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会

編集者：代表幹事 高橋 賢一

連絡先：市民活動支援センター

尾張旭市洪川町三丁目5番地7

(洪川福祉センター内)

TEL 0561-51-2878



2010/06/09

時間、空間人間というものを  
 先んずかしてどうかが分ります  
 開くつまりゆとりです。  
 空間は考えるゆとりを与えて  
 くれるものです。  
 これはお金には換えられない  
 ものばかりです。  
 経済的価値としては換算  
 できないもうなれた価値が  
 大切です。  
 けん玉は、この間のスポーツです。  
 羽の糸と玉でゆとりをし  
 たりながらリズムにあわせる  
 べん玉年長組  
 の卒業です。  
 よくがんばったね！！



2010/12/14

まだ最初の三カ月  
 しかけん玉「だま」  
 と見せてはじめて  
 納得する子供たち。  
 さながら子供達の勇  
 気とモチベーションの挑戦  
 がほじまった。  
 こんなこと出来るかな  
 レッカリ見えています。  
 六月九日です。  
 子供達から大きな玉  
 やりが与えられます。



▲本心に委ねて  
 エンカをセリスに合せて行なっています。  
 この笑顔一年間頑張りました。  
 保育園の子供達が四十歳  
 になると子供のころを考えるとヒキ  
 背けん玉、保育園で「お返して  
 もらう」なしくしと思ってお返し  
 が必要あります。  
 私はその時、思いおしてもらえ  
 ればよいと思つて指導しています。  
 伝承と言うことはその意味です。

▲それから一年たちました。  
 今は日本一河出来る子供達が  
 四人おました。  
 そして今日が最後の保育園  
 指導の日です。  
 平成二十三年三月八日  
 園児達がお別れの歌を合唱とく  
 られました。  
 先生はピアニ、私は指揮とりまし  
 た。  
 私にとっては、このことが生きがいなのです。  
 皆さんの生きがいをしています。  
 このほかから、学校に行ったり児童会が  
 できたけん玉こそしたいとのことです。

